

## 外国人から見た海女 中国出身、李さん フォトエッセー出版

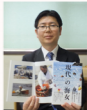
【鳥羽】中国遼寧省出身で鳥羽市在住の李相海(りしゃんはい)さん(43歳)が、外国人の目線をつづったフォトエッセー「現代の海女～伊勢志摩の海女に魅せられて」(青山ライフ出版)を自費出版した。

李さんは中国で教師を務めた後、平成十年留学で来日。三重大学を卒業し、鳥羽市内のホテルで勤務している。昨年十月、志摩市の海女に母の姿が重なり「海女について書こう」と思い、執筆を始めた。

鳥羽市の「ごくあげ」や志摩市の「潮かけ祭り」といった自然を崇拜する海女の祭りを紹介。海女への取材したり、海女の歴史をひもといたり、現代の海女文化をつづった。

李さんは海女の減少を憂い、ユネスコの無形文化遺産登録に期待を寄せる。「外国人から見れば海女は日本の財産。古代から素潜り漁を続ける海女の姿に感動した。海女文化を大切にしたい」と話していた。

インターネットサイト「アマゾン」で販売。十五日以降に全国の書店でも販売する。A5判 百二ページ、税込み千二百九十六円。



【「現代の海女」を自費出版した李さん＝鳥羽市内で】